

サービス計画項目表

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度	
生涯学習を支える図書館 生涯学習の拠点としての図書館	(1)資料の提供 ①収集・整備	資料収集	・「収集方針」の適宜改訂 ・本館・分館それぞれの役割や地域性に応じた資料の整備 ・【32年度の数値目標】 蔵書冊数 606千冊 図書館資料費 35,986千円 人口一人当たりの図書館資料費 160円	本館・分館同時選書を行い同一資料の複数購入を極力減らし、タイトル多数確保を目指した。 ※ 蔵書冊数 567千冊 図書館資料費 33,694千円 人口一人当たりの図書館資料費 150円	
		資料保存	・「除籍基準」の改訂 ・新図書館閉架書架に特別閉架資料を含むすべての保存資料収蔵	主な進捗なし。来年度以降、複合施設事業の中で検討する。	
		資料組織化	・NDC10版の採用 ・書誌データ量が多く、検索性に優れ、また安価なMARCの採用 ・資料を探しやすい請求記号や図書記号の採用	日本十進分類表10版採用及び当館分類桁数等の変更は新図書館システム導入時(31年度)を行う。	
		寄贈	・寄贈本の有効活用	寄贈資料を図書館資料とした。受入れしなかった寄贈書はリサイクル事業で市民に頒布した。	
	②貸出	貸出(図書)	・人口一人当たりの貸出冊数の増加(数値目標⑨参照) ・資料の新規購入・更新による蔵書新鮮度の維持 ・新規利用者の獲得(数値目標⑩参照) ・【32年度の数値目標】 ・貸出冊数 1,330冊 ・新規登録者数 5,070人	※ 貸出冊数 1262,705冊 新規登録者数 4,625人	
		貸出(雑誌)	・雑誌タイトル数の増加(数値目標⑤参照) ・【32年度の数値目標】 ・雑誌タイトル数 253冊	※ 雑誌タイトル数 198冊	
		貸出(視聴覚資料)	・音楽配信サービスの導入	音楽配信サービス「ナクソス」の提供を開始した。 県立図書館の視聴覚資料を相互貸借により借受可とした。	
		貸出(視聴覚機材・器具)	・評価の高い映像作品など、団体貸出用視聴覚教材の計画的収集	・貸出機材(プロジェクター)を1台から3台に増加した。 ・上尾市図書館HPに視聴覚機材の専用ページを開設した。	
		非来館者への貸出	・図書館資料の郵送貸出(有料)実施	・主な進捗なし。	
		③閲覧	閲覧用資料	・新聞購読数の増加(数値目標⑥参照) ・【32年度の数値目標】 ・新聞購読数 30紙	※ 新聞購読数 23紙(6紙増)
	閲覧スペース		・閲覧スペースの設置・拡充による居心地の良い読書環境の提供	・新図書館複合施設整備事業の中で継続的な検討を行っている。	
	閲覧用備品		・必要性の高い閲覧用備品の分館への導入	・読書補助用具(リーディングトラッカー)を全館に置いた。 ・分館展示用にブックラックを購入した。	
	データベースの活用		・必要性の高い有償・無償データベースの整備、図書・雑誌とデジタル情報を兼ね合わせた資料・情報の提供	・現在図書館では、デジタル化資料送信サービス、開蔵Ⅱ、日経テレコム21、ナクソスミュージックライブラリー、官報情報サービスの計5つのデータベースサービスを提供している。 ・ナクソスミュージックライブラリーの平成28年度統計は、6月からのサービス開始以来、ログインされた回数が年間2442回、通算利用時間が228,607分、計3476時となっている。 ・デジタル化資料送信サービスは、平成29年3月までの統計より、年間閲覧回数が212回、複写回数が110回と利用されている。	
	④予約・リクエスト	予約(市内に所蔵がある資料への予約)	・効率的な方法による予約本取り置き連絡実施 ・【32年度の数値目標】 ・予約件数 209千件	※ 予約件数 207,819件	
		リクエスト(購入希望)	・未所蔵資料のホームページからのリクエスト受け付け開始	・主な進捗なし。	
		督促	・メールなどの活用による督促業務量と費用の削減	メール登録者にはメールによる督促を実施、業務量と郵送料を軽減した。	
	⑤複写サービス	複写サービス	・複写サービス、著作権についての分かりやすい案内の実施 ・職員の著作権知識の向上	著作権研修に参加し、研修報告を職員間に回覧することで知識共有を行った。	
		郵送複写サービス	・郵送複写サービスの情報提供、資料・情報検索に関する職員の知識・技術の向上	国立国会図書館・大学図書館の利用方法、所蔵資料の郵送複写サービスについて図書館HPに掲載した。	
	⑥電子書籍	電子書籍の提供	・電子書籍提供の検討	2社から電子書籍についてのプレゼンを受けた。	
	生活上の課題解決のための図書館	(1)レファレンスサービス ①当館でのレファレンスサービス	レファレンスサービスのPR	・資料の所蔵調査、質問・回答サービスなどの周知	・レファレンスデスクを来館者に目立つ表示に変更した。 ・HPのレファレンスサービスのページを更新、当館の主な参考図書リスト、信頼できるインターネット情報源、調べものに役立つサイトを掲載した。
			レファレンスブックの収集と提供	・調べものに役立つレファレンスブックの収集、自然科学系は、データベースを含めて最新の情報検索が可能な資料・情報の整備	127冊のレファレンスブックを収集した。
			多様なレファレンス申し込み	・来館・電話に加え、FAX、ホームページなど多様な方法によるレファレンスサービスの受付 ・【32年度の数値目標】 ・レファレンス件数 14,600件	メール・レファレンスを開始した。(平成28年度は6件) ※レファレンス件数10917件
			レファレンス協同データベース	・「レファレンス協同データベース」への参加、上尾市に関する事例は同データベースから一般公開	「レファレンス協同データベース」に参加し、当館の事例の登録を開始した。
			職員のスキルアップ	・外部研修・館内研修によるレファレンスの知識・技術の向上・共有化	県立図書館、図書館協会、国会図書館主催の研修に参加した。
②紹介サービス			類縁機関の紹介	・類縁機関に関するホームページコンテンツの作成 ・近隣の類縁機関一覧などのリーフレットを作成・提供	類縁機関リンク集をHP上に作成した。
		紹介状の発行	・紹介状の利用に関する情報を発信	大学図書館の利用の際の紹介状発行についてHP上に記載した。	
③読書相談		展示・特集コーナーの設置	・社会の動きに対応したテーマ展示の実施	戦後70年をテーマに年間展示を実施した。	
		新着情報サービスの提供	・SDIサービスなど利用者への新着図書情報の速やかな提供	HPから新着図書情報を提供している。SDIサービスは進捗なし。	
		情報へのアクセス・活用方法(情報リテラシー)	・資料の使い方・調べ方案内などのパンフレット配布やホームページでの案内などを通じた、利用者の情報リテラシーの向上	「リサーチナビ(国会図書館)」についてHP及び図書館広報誌に掲載した。	
		ブックリストの提供	・いろいろなテーマのブックリストを、リーフレットやホームページなどから提供	「よんでごらん」「この絵本の楽しいよ」「Next Generation」を発行した。	
		パスファインダーの作成・公開	・主要テーマの調べ方案内の公開・提供	「レファレンス協同データベース」へのリンクを貼った。パスファインダーは進捗なし。	
④課題別支援サービスの提供		ビジネス支援サービス	・ビジネス支援に関わる資料収集、情報発信 ・商工関連部署や商工会議所と連携し、ビジネスセミナー開催や地元産業等に関する情報発信の実施	ビジネス関連資料を収集した。ビジネスセミナーや情報発信はできていない。	

サービス計画項目表

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度	
生活上の諸課題解決のための図書館	④課題別支援サービスの提供	・法律・医療・健康情報提供サービス	・法律情報、医療・健康情報について十分な資料の収集、最新の資料・情報を提供	医療・健康関連資料を収集した。	
		・子育て支援サービス	・乳幼児とその親を対象にした事業の継続的実施、親同士の情報交換の場の提供 ・子育て支援コーナーを設置・拡充し、同コーナーの周知を進め多様な情報の収集・提供 ・乳幼児の泣き声などを、気にせず利用できるようなコーナーの配置、“赤ちゃんタイム”の導入など運営面での配慮	赤ちゃんと保護者の触れ合いの機会をもってもらったため赤ちゃんおはなし会を月1回実施し、平均15組の親子が参加した。(参加者333人)	
		・多様な学習機会の提供	・本館・分館で年間を通して講座や講演会、体験型イベントの開催による参加者数増加(数値目標⑭参照) ・学習機会とその発表の場の提供 【32年度の数値目標】 ・一般向け行事参加者数 1,500人	カスパーシアター(人形劇)や文学講座、大人のためのおはなし会、公民館との共催でリフォーム、痴呆症予防講座など幼児からシニア世代まで対応した体験型イベント、講座・講演会を開催した。 ※ 一般向け図書館行事参加者数195人(延人数)	
	(1)多様な学習機会の提供	・インターネットを活用したサービス・学習機会の提供	・利用者用インターネット端末の増加	本館、駅前分館、大石分館でインターネット端末を開放している。本館では、聞蔵Ⅱ等3つの有償オンラインデータベースの他、「歴史的音源」「デジタル化資料送信サービス」を提供している。	
		・地域資料・情報 ①郷土資料の収集・提供	・郷土資料の収集・保存・提供 ・郷土に関するデジタル資料の作成・公開	・上尾市・埼玉県に関する資料・情報収集 ・上尾市に関する郷土資料の電子資料化	・上尾市を中心に埼玉県に関する資料の収集を行った。 ・上尾市資料の棚に表示をつけて内容ごとに分類した。 未実施
	地域の情報拠点としての図書館	②行政資料の収集・提供	・行政資料の収集・保存・提供	・上尾市や埼玉県が発行した行政資料の収集・提供	上尾市を中心に埼玉県に関する資料の収集を行った。
		③地域情報の収集・提供	・地域の団体・グループなどからの情報収集	・地域の団体・グループとの情報交換やそれらの活動に関する資料収集 ・団体やグループの活動や地域情報についてのリーフレット、冊子の配置場所を工夫し、利用者に分かりやすく提供する。	上尾市、埼玉県内の観光パンフを収集した。 地域の団体・グループのちらし・ポスターを収集し、展示・提供している。
		(2)図書館からの情報発信 ①広報活動の充実	・図書館イメージの確立	・図書館サービスについて周知を進めて、貸出・返却だけでなく、調べもの、学習室利用、イベント参加など、さまざまな目的の図書館利用者の増加を図る。	「イベントカレンダー」「集会室カレンダー」をHP上に掲載し毎月更新している。
			・図書館サービス・イベントの周知	・図書館ホームページやSNSからの図書館サービスやイベントについて情報提供 ・地域との連携による図書館イベントの効果的なPRの実施	「みんなの図書館」、HP、ツイッター等で各種イベントを周知した。
			・図書館だよりなどの発行	・「みんなの図書館」、「児童室だより」、「Next Generation」などバックナンバーを含めてホームページに掲載	「みんなの図書館」「児童室だより」「Next Generation」などを発行し、バックナンバーを含めホームページに掲載した。
②ホームページからの情報提供		・ホームページのコンテンツ	・図書館サービスのホームページからの積極的な情報発信 【32年度の数値目標】 ・ホームページアクセス数 301千件	「こどものページ」「歴史サービス」「視聴覚サービス」「施設サービス」「イベントカレンダー」「集会室カレンダー」などのページを新設した。 ※ ホームページアクセス数 257千件	
	・有用なサイトなどのリンク集の作成・公開	・内容の充実したリンク集を掲載	埼玉県内公共図書館等横断検索システムなど有用サイトのリンクを増やした。		
高齢社会における図書館	(1)居場所としての図書館づくり	・「居場所」としての図書館づくり	・退職後の「居場所」として、読書やライフワークの調査研究などが快適にできる空間の提供	新図書館複合施設での実現を目指し、実施設計の中で検討している。	
		・交流の場の提供	・新図書館で市民の交流の場を提供	新図書館複合施設での実現を目指し、実施設計の中で検討している。	
		・経験を生かせる場の提供	・新図書館で経験を生かせる場を提供	主な進捗なし。来年度以降、複合施設事業の中で検討する。	
	(2)シニアサービスの提供	・シニアを対象にした資料・情報の収集・提供	・分館・公民館図書室へのシニア向け資料・情報コーナーの設置 ・福祉部局や保健部局と連携した、保健・医療・年金などの関係機関の発行する冊子・パンフレットなどの収集・提供	・セカンドライフコーナー向けに、シニア向け図書を収集した。 ・健康福祉部局や県民活動センターと連携し保健・医療・年金などの冊子・チラシを収集・提供した。	
		・利用を支援する機器・設備	・ユニバーサルデザインに基づくOPACの設置	利用者が使いやすいユニバーサルデザインに配慮したOPACに変更した。	
		・「大人向け映画会」や「お話し会」などのイベントの開催	・バリアフリー映画会の実施 ・読書会などシニア向けイベントの実施	・平成29年度に開催予定のバリアフリー映画会に向けて情報収集をし、準備を進めた。 ・「土曜映画会」を2回開催した。 ・「大人のためのお話し会」を2回開催した。	
社会・時代の変化に応えられる図書館	①図書館でサービス	・図書館資料の充実	・基本図書や調べものに必要な知識の本、利用者からの需要が多い読み物などを備えた、利用者の要望に合致する魅力ある蔵書の整備	最新の出版された本を中心に読物や調べ学習に役立つ資料を収集した。	
		・施設・設備	・お話し会などの催しに良好な環境を整備 ・授乳、おむつ替えなどに良好な環境を整備	展示や掲示物を明るい色合いにしポップなども工夫、入りやすいフロア環境になるように努めた。	
	(1)子どもの読書活動の推進 ①図書館でサービス	・子どもが図書館に来るきっかけになる事業の充実	・全館でのおはなし会、えほんの時間を定着させ、開催回数の増加 ・本や図書館に興味や親しみをもってもらったための企画の実施 【32年度の数値目標】 ・子ども向け行事参加者数 4,430人	・おはなし会や絵本の時間などを市内全館で実施し、延3358人の参加があった。 ・秋に実施する図書館まつり内で小学生までを対象にした事業の実施 ※ 子ども向け行事参加者数 208人	
		・ブックスタート事業	・配布率を100%にする。乳幼児期から、絵本を通しての親子のふれあいの定着に努める。	・ブックスタート事業として4か月検診の際、絵本2冊と赤ちゃん向けのブックリストを渡している。(昨年度1,611人に配布) ・赤ちゃんおはなし会を月1回実施(参加者333人 平均15組)している。	
		・セカンドブックスタート事業	・読書パスポートの小学校の授業や読書への活用、子どもの読書の推進 ・読書パスポートを核にした「家庭・地域・学校」の連携強化	・市内小学1年生対象(私学含む)に読書パスポートを交付した(平成28年度1,913人) ・本に親しみかけつくりとして読書パスポートコンクールを開催し、市内全22校が参加し、137人教育長名で表彰した。	
		・年齢層に合わせた絵本図書リストの作成	・リストの作成、配布と同時に、ホームページ上に掲載されたリストから検索・予約システムの整備 ・本選びの参考になる児童書情報の発信 ・市民が図書リストをもとに子どもの成長にあった本選びができる環境の整備	・「こどもつたより」前年度と重ならないように新たなテーマを決めるように努め年4回発行した。 ・児童担当おすすめ本を集めた「よんでごらん」を発行した。	
		・団体貸出	・周知を図り、保育所、学童、児童文庫などの利用増につながる周知の実施	市内小・中学校延43校に授業の参考教材用資料の団体貸出を行った。	
・図書館の利用に障害のある子どもへのサービス	・児童・生徒・保護者の求めに応じて音声デジタイズ資料などの提供	点字や触れる絵本や、日本語を母語としない子どもでもわかりやすいように絵を多用したくらしの本を入れた。			

サービス計画項目表

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度		
社会・時代の変化に応えられる図書館	少子化社会における図書館	・学校支援	・市内の小中学校の利用の増加	市内小学2年生に図書館の使い方などを説明する図書館見学を本館・分館をあわせて延21校に対して実施した。		
		・図書館資料の充実と青少年(Y・Y)コーナーの充実	・青少年世代のための本、雑誌、新聞、パンフレットなどの収集・提供 ・青少年世代の意見やアイデアを様々な形で取り入れたパスファインダー・ブックリストの提供 ・高額な資料の計画的収集	新しく出版された本や、ここ数年の間に出版された本を中心に、幅広い分野の資料を収集した。		
		・中高生の職業体験の受入れ	・受入れできる学校数の増加	中学生の社会体験事業(4回、計12名)、高校生のインターンシップ(1回、2名)の受入を実施した。なお、新図書館ができるまでは職員の業務との調整が難しいため、受入数を抑える。		
		イ. 青少年(Y・Y)サービス	・図書館広報紙などの共同作成	・イラスト・本の感想・おすすめ本の投稿など利用者と協力した広報紙の作成	本館青少年コーナーの投稿箱に投稿された本の紹介文を本館で展示、保存している。中学生と協力した情報誌作成については未実施。	
		・青少年向けイベントの開催	・ブックトークなどを通じて、図書館に対する青少年世代の認知度を向上 ・自分のできる形で図書館と関われる青少年世代の増加を図り、図書館と青少年世代の可能性を向上	ブックトークについては未実施。ブックトークに関する研修に職員2人が参加した。		
		②子どもの読書活動支援センター	・関連部署・学校・地域との連携	・各連絡会を開催し、問題点を解決	子どもの読書活動支援センターに関する項目は「第2次子どもの読書プラン 平成28年度実施状況」参照	
		ア. 家庭・地域・学校の連携コーディネート	・読書推進のための調査・研究	・上尾市の子どもの読書傾向について、家庭・地域・学校が把握し、読書推進の指針として活用できるよう、調査・研究結果を公開		
		・家庭・地域・学校への情報発信	・広報・フェイスブック・ツイッターの読者の増加			
		イ. 家庭への支援	・子どもを取りまく大人への事業	・講座や講演会の内容をもとに、さらに子どもの読書活動の推進		
			・子どもを本好きにするための児童・青少年向けの事業	・小・中学校で、読み聞かせや読書活動推進事業を実施		
			・出張おはなし会	・出張おはなし会に多くの子どもたちが参加し、その場で本を借りられるシステムの整備 ・借りた本を返すために図書館に来館することをきっかけとした、図書館を利用する子供たちの増加		
		ウ. 地域への支援	・ボランティアの育成・支援	・さまざまなジャンルの読み聞かせボランティアが活発に活動できるよう仕組みづくり ・ボランティア連絡会の開催による、相互の交流や意見交換の実施。		
		エ. 学校への支援	・小中学校向け図書セットの貸出し	・図書館の本が学校図書館で有効に使われ、多くの子どもたちが図書館の豊富で魅力ある資料にふれられるような環境の整備		
			・小学校授業・朝読書などでの読書推進	・学校での読み聞かせボランティアによるおはなし会の活発な開催		
			・学校応援団読み聞かせ初心者講座	・学校応援団などのレベルアップを図り、児童がさらに読み聞かせを楽しめるような講座の実施		
	多様な利用者ニーズに応える図書館	(1) 図書館の利用に障害のある人へのサービス	① 図書館資料	・情報発信 ・障害者サービスや、収集・作成した障害者用資料について情報の発信と周知		市域の保健福祉部局、デイサービス事業所、ケアマネージャー他に障害者サービスのちらし等を設置・配布しているが十分に情報を発信できていない。
			・サービス対象者の拡大	・録音資料の来館及び宅配などによる貸出		・身体障害者手帳所持者から活字読書が困難な人、来館が困難な人へサービス対象者を拡大した。
		② 図書館サービス	・障害の特性に合わせた資料サービス提供	・他館からの借受や収集により障害児・者用資料を提供 ・「対面朗読サービス」の定着 ・初級及び中級音訳者養成講座を数年の間隔をあけて実施し音訳者養成の継続 ・年3タイトルを目標に図書館協力員による録音資料の制作 ・コミュニケーション・ツールなどを用いてコミュニケーションに障害のある人や日本語を母語としない人とのカウンターでの意思疎通の向上		平成27年度初級、平成28年度中級音訳者用瀬講座を実施し、図書館音訳者19人(職員3人を含む)を養成した。 録音資料製作を開始した。 朗読ボランティアによる対面朗読をやめて、図書館音訳者によるサービスに変更した。
			・読み書き支援サービス	・読み書き支援サービスについて、図書館の業務としての方針を決定		読み書き支援サービスについては、図書館サービスではなく福祉のサービスとの考えから対面朗読の対象としないこととした。
			・来館できない人へのサービス	・宅配サービスの拡大及び運営体制について、今後の検討課題としている。 ・ゆうパック・ゆうメール(着払い)による有料郵送サービスの実施		・宅配サービスの利用者数は伸びている。対象者の拡大は行っていない。 ・録音資料や宅配サービス等障害者サービスについて、電話・FAX・メールなどからの利用申込みを可とした。 ・委任状による利用カード発行、並びに図書館資料貸出を実施している。
		③ 施設サービス	・団体貸出	・高齢者施設などへの団体貸出と図書館ボランティアによる読み聞かせなどの施設サービスの実施	・利用施設数 2施設 ・市内の高齢者施設、児童自立支援施設への団体貸出を実施している。 ・市内高齢介護施設や居宅介護支援事業所にちらし・ポスターなどを送付し、施設への団体貸出と障害者サービスのPRを実施した。	
			・リクエストサービス	・施設入所者の求めに応じて視聴覚資料を含む図書館資料を提供	市内高齢介護施設入所者を宅配サービス対象者に加えた。H27.12.15から施設入所者の求めに応じて視聴覚資料を含む図書館資料を提供している。	
		④ 多文化サービス	・多言語資料の収集・提供	・多言語の資料数の計画的な増加	児童・青少年向けの主に英語資料を所蔵している。	
			・子どもへのサービス	・英語を中心に外国語の児童書収集の検討	主な進捗なし。	
			・生活情報の提供	・上尾市や埼玉県に関する多言語情報を提供	主な進捗なし。	
			・利用案内	・4か国語の利用案内を通常の利用案内に合わせて、適宜に更新 ・ホームページ、OPACの多言語対応(英語・中国語・韓国語など)	4か国語の利用案内を提供している。	

サービス計画項目表

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度		
サービス網を拡充する図書館	新図書館、本館、分館、公民館図書室	・新図書館と本館	・新図書館を建設し、本館機能を移転して、開架書架の拡充や閲覧席の充実、身体の不自由な人、乳幼児連れの人など、多くの人が利用しやすい施設づくりを推進 ・現本館の移転後については、上尾地区の図書館機能が低下するため、何らかの機能補充を実施	新図書館複合施設整備事業の中で継続的な検討を行っている。		
		・分館の現状と課題	・分館・公民館図書室の改修による、施設の長寿化とバリアフリー化の実施 ・新刊資料提供方法の工夫などにより、魅力ある書架を提供	・瓦葺分館女子トイレの修繕に伴い和式から洋式トイレに交換した。 ・平方分館・たちばな分館の外部表示を手作りし、わかりやすい表示にした。 ・古い資料の多い公民館図書室3館の資料費を増額し新刊を増やした。		
	図書館ネットワークの拡充	(1) 相互貸借	・県内の公共図書館などの相互貸借	・相互貸借制度の周知を図り、未所蔵資料のリクエスト及び提供数を増加する。	相互貸借利用により未所蔵リクエストの迅速な提供に努めた。県内未所蔵の専門資料については県立図書館に購入を依頼し、提供に努めた。	
			・国会・県外からの借用	・サービスの周知を進めて利用者への浸透を推進 ・国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」の提供	・「デジタル化資料送信サービス」の提供をH28.7から開始した。 ・国会図書館及び県外図書館資料借用についてHPに掲載した。	
			・近隣大学図書館との連携	・大学図書館との相互利用協定による、利用者が求める専門資料の提供	県立大学、埼玉大学との相互貸借を実施、専門資料を借受し提供している。	
		(2) 広域利用	・広域利用	・利用状況を把握し、広域利用拡大を検討	川越市民の当館利用希望が一件あるのみで、広域利用拡大については要望が無かった。	
		(3) サービスポイントの設置	・サービスポイント	・既存の公共施設窓口を活用し、予約本の受取りと資料返却サービスの実施について検討する。 ・ニューシャトル線の駅などへのブックポストの設置について検討する。	主な進捗なし。	
	(4) 開館日及び開館時間の効果的な設定	・開館日・開館時間	・市民ニーズに応じた開館日・開館時間を設定	新図書館複合施設整備事業の中で継続的な検討を行っている。		
	市民とともに創る図書館	市民との連携、市民との協働	(1) 市民参画と協働	・市民参画	・ホームページ、図書館へのひと言、適宜に実施する利用者アンケートなどから利用者・市民の意見を募集して、それらに対する図書館からの回答を含めて公表	「図書館へのひとこと」については、意見と回答を館内掲示することとした。
				・市民協働	・ボランティアルームの設置によるボランティアの会議、作業スペースの確保 ・地域で活動するボランティアや市民団体との連携強化	・図書館ボランティア、読み聞かせボランティア、図書館音訳者等、図書館に関わる市民は増加している。
(2) 地域との連携			・地域との連携	・地域の文庫との共催事業の実施	・市内の高齢者施設、市内で活動するボランティア団体と協力・連携している。	
			・書店、専門家団体、NPOや福祉関係団体などの連携	・図書館内で行政書士、司法書士などの専門家団体による相談会を実施、図書館は、相談会に合わせて図書館資料の展示を行う。 ・図書館を活用してNPOや福祉関係団体の主催事業や図書館との共催事業を実施	公民館主催のセカンドライフセミナー（住環境改造、回想法、アロマセラピー）の共催をし、図書館資料を展示した。	
(3) 図書館協議会		・委員構成	・公募委員を含めた委員構成への移行推進	現在、公募委員なし。		
		・開かれた協議会	・審議内容などについて情報公開の実施	審議会等の会議の公開に関する指針に基づき公開とした。		
望ましい図書館運営体制		(1) 図書館運営体制	・図書館運営体制	・十分な議論を経て決定した方法に基づいた図書館運営の実施	新図書館における管理運営方法について、図書館協議会に諮問し、答申を受けた。	
			・職員研修	・継続的な研修の参加と職場への還元	県立図書館、国会図書館主催研修に参加した。	
		(2) 開かれた図書館運営	・図書館の運営・サービス状況の公開	・「図書館要覧」、図書館ホームページなどから図書館の運営・サービスに関する必要な情報の公開	「図書館要覧」をHP上に公開した。	
(3) 図書館における資金調達		・雑誌スポンサー制度の拡充	・雑誌スポンサーを確保・拡充 ・図書館資料費を外部から調達するため、継続的に努力		「図書館規則」をHP上に公開した。	
	・雑誌スポンサー企業数を4社から5社へ増やした。 ・スポンサー企業の雑誌寄贈数増加により、新聞など他の資料の購入費が約300,000円増加した。					